

令和4年 第3回 市議会定例会

市長所信表明(要旨)

蕪崎市

本日ここに、令和4年第3回市議会定例会の開会にあたり、提出いたしました案件のうち、主なるものにつきまして、その概要を申し上げ、併せて、私の所信の一端を申し述べ、議員各位、並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

7月に行われた参議院議員選挙の街頭演説中に、安倍晋三元首相が銃撃を受け、死去されました。

突然の訃報に接し、心から哀悼の意を表します。

このような卑劣な行為は、市民生活に対する重大な脅威であり、社会からあらゆる暴力の根絶を強く求めるものであります。

謹んでお悔やみ申し上げるとともに、故人のご冥福をお祈りいたします。

本年も、全国各地において、線状降水帯などによる記録的な大雨により河川の氾濫や土砂災害が相次いで発生し、大きな爪痕を残しております。

被災された皆様には、謹んでお見舞い申し上げます。

本市は、過去の歴史からも水害の危険性が高い地域であり、これまでも自助・共助・公助による災害対策を行っておりますが、引き続き、訓練の実施や防災備蓄品の拡充などに努め、減災力に強いまちづくりを推進してまいります。

また、今月4日には、秋の総合防災訓練として、震度6強の大規模地震を想定し、地区ごとに避難誘導や感染症対策を講じた指定避難場所等への参集訓練を行うとともに、韭崎工業高校及び韭崎西中学校での特定地区総合防災訓練のほか、停電時に有効な電気自動車などを用いた電源確保訓練等を実施いたします。

先月10日に開催いたしました、第3回女性議会では、女性団体連絡協議会をはじめとする各種団体や市内在住の大学生等、12名の議員の参加により、「子育て」、「教育」、「観光」など様々な分野にわたる質問や意見をいただきましたので、今後、活力あるまちづくりに反映してまいります。

また、11日には、サンライズヒル・穂坂ヤマケンカップを3年ぶりに開催いたしました。

今回は、5km、10kmの部に加え、新たに親子の部も設け、幅広い年代で楽しめる内容としたところであり、当日は、全国各地から約270名のランナーをお迎えし、関係各位のご協力により成功裡に終えることができました。

さて、今議会は、私にとりまして任期最後の定例市議会であります。

先の6月定例会において、次期市長選へ向けて決意表明をさせていただきましたが、急激に変化する社会情勢に対応した市政運営を推進し、「市民が主役の持続可能なまち韭崎」を次世代へと引き継ぐため、今後も新型コロナウイルス感染症対策はもとより、コロナ禍における経済対策、人口減少や防災・減災に対する重要施策など、様々な行政課題に迅速かつ積極的に挑戦し、すべての市民が健やかに安心して暮らせるまちづくりに全身全霊で取り組んでまいります。

次に、本年度の主な事業の動向と新たな取り組みについて申し上げます。

始めに、新型コロナウイルス感染症対策についてであります。

先月8日、国において、オミクロン株に対応したワクチン接種を来月半ば以降に開始する方針が示されたところであります。

これまでもスピード感を持って、丁寧に取り組んでまいりましたが、引き続き情報収集に努めるとともに、葦崎市医師会をはじめ、関係機関と連携を図りながら体制を整え、感染拡大の防止と重症化リスクの低減に努めてまいります。

次に、スポーツ活動の充実についてであります。

市営新体育館及び総合運動場整備・運営事業につきましては、選定委員会からPFI事業への入札参加グループのプレゼンテーションとヒアリングによる審査結果に基づく優秀提案者の答申を近日中に受ける予定でありますので、今月末までには落札者を決定し、公表することとしております。

今後は、落札者と基本協定について、協議を進めるとともに、12月下旬の契約締結に向け、事業の推進を図ってまいります。

また、老朽化している市営総合運動場夜間照明につきましては、更新に向けた設計業務に入り、現設備の撤去及び新設に着手するため、請負契約に係る議案を今議会に提出しております。

次に、資源循環型社会の構築についてであります。

準備を進めてまいりましたプラスチックの一括回収につきましては、予定通り来月1日から開始いたします。

これまで、市広報をはじめ、地区回覧や地域説明会等により周知に努めてまいりましたが、市民の皆様にはさらなる資源リサイクルの推進にご理解とご協力をお願い申し上げます。

次に、魅力ある観光施策の充実についてであります。

フェスタ葦崎につきましては、来月9日に感染防止対策と参加者の安全・安心を両立するため、葦崎中央公園において、キッチンカー選手権やチャンバラ合戦など、新たな内容により、4年ぶりに開催することといたしました。

また、併せて開催する秋の武田の里ウォークにつきましては、市営総合運動場を起点に、まちなかや新府城跡、葦崎中央公園をチェックポイントとしたコース設定を行い、リニューアルして実施いたします。

フェスタ葦崎での「食・健康・スポーツ」イベントとまちなかにおける観光協会認定ガイドによる葦崎宿の解説や学芸員による新府城跡でのおもてなし講座との相乗効果を図り、葦崎の魅力発信に繋げてまいります。

また、例年8月に開催している武田の里にらさき花火大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止という苦渋の決断をいたしました。市民の皆様を元気づけ、活力を取り戻すため、11月26日に実施する予定であります。

次に、定住対策の促進についてであります。

移住・定住の促進や子育て支援に繋がる良質な住宅環境の整備を可能とする官民連携の枠組みなどを調査検討するため、過日、公募型プロポーザル方式により業者選定を行いました。

今後は、市内外の方々にアンケート調査を行うとともに県内外の事業所などに対し、就業・定住のニーズ調査を実施し、実効性のある住宅施策に繋げてまいります。

次に、計画的な土地利用及び道路の整備についてであります。

都市計画マスタープラン及び道路整備計画につきましては、過日、事業者を決定したところであり、今後は、まちづくりに係る各種調査や多くの方々のご意見を集約し、具体性のある将来ビジョンの検討に取り組むとともに、市内道路網の現状把握と課題を整理し、関係機関と協議する中で、渋滞解消策を含めた、計画を作成してまいります。

次に、農業の振興についてであります。

ロシアによるウクライナ侵攻や円安などによる急激な飼料価格の高騰を踏まえ、経営に打撃を受けている市内の畜産農家の負担を軽減するほか、県内では初となる専業農家の肥料に係る経費の一部を補助することといたしました。

農家の皆様が安心して農業経営に専念できるよう支援してまいります。

次に、文化・芸術の振興についてであります。

来月、開館15周年を迎える葦崎大村美術館では、企画展「女性画家のやまなみ」を開催いたします。

「やまなみ」とは、収蔵作家の中でも特に人気が高い作品を取り上げることで、まるで山が連なっているかのように印象付けるため、大村智館長自ら命名された思い入れの展覧会であります。

11月末までの会期中、記念式典のほか館長と女性作家との交流や関わりがわかる催しも予定しておりますので、多くの方々のご来館をお待ちしております。

次に、地域文化の創造・継承についてであります。

円野町上円井地区から南アルプス市飯野新田までの釜無川右岸地域の灌漑用水の供給に重要な役割を果たしてきた「徳島堰」を本年6月、国の登録記念物とする答申が行われました。

県内では本市の七里岩に続くもので、非常に喜ばしく感じているところであり、農業の発展の礎として先人たちが守り伝えてきた歴史や文化的価値を地域の宝として後世に繋いでまいります。

また、新府城跡をはじめとする史跡のガイダンス及び埋蔵文化財センター機能等を統合した文化財保存・活用施設につきましては、基本構想の策定に着手したところであります。

次に、行政のデジタル化の推進についてであります。

先般、DX（デジタルトランスフォーメーション）の一環として、出生と死亡に関する手続きの特設サイトを市ホームページに開設いたしました。

特設サイトでは、質問に回答することにより、必要な申請や対応窓口などを知ることができ、ご家族の負担を減らす効果があるものと考えております。

また、亡くなられた方の手続きに来庁された方に、住所や氏名などの基本情報を「何度も書かせない」ことにより、待ち時間と手間を軽減するシステムを明年1月から稼働できるよう、準備を進めてまいります。

さらに、マイナンバーカードの取得率向上と利活用を推進するため、若手職員を中心としたプロジェクトチームにおいて、先進的な自治体の取り組みなども参考に、本市に適した仕組みを、調査研究しているところであります。

次に、今議会で認定をいただき、令和3年度決算についてであります。

一般会計における歳入総額は、166億1,756万1千円、前年度に比べ、10.3%の減、歳出総額は、160億3,429万7千円、前年度に比べ、10.4%の減となっております。

歳計剰余金は、5億8,326万4千円で、翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支は、3億7,860万5千円であります。

また、「実質単年度収支」は、1億287万2千円の赤字となりましたが、公共施設整備基金等への積立により基金残高は5億5,653万4千円増加し、今後の投資的事業に備えたところであります。

なお、財政構造の弾力性を示す「経常収支比率」につきましては、86.9%と、法人市民税や普通交付税の経常一般財源の増により、前年度より1.3%改善しております。

次に、「健全化判断比率」につきましては、「実質公債費比率」が0.2%増加し、9.0%、「将来負担比率」は10.4%減少し、72.1%となり、いずれの指標も早期健全化基準を大きく下回る結果となっております。

また、特別会計につきましても、実質収支の総額が4,886万7千円となり、堅実な財政運営を行うことができたところであります。

なお、企業会計におきましても、概ね堅実な収支状況となっておりますが、病院事業会計につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、医業収益は前年度に比べ増加し、純損失は1億4,876万4千円から9,121万1千円に減少しており、今後も安定的かつ継続的な医療の提供に努めてまいりたいと考えております。

議員各位のご協力と市民の皆様のご理解に支えられ、令和3年度も健全財政を維持できたところでありますが、なお一層、効率的な予算執行に取り組み、将来を見据えた計画的な財政運営に努めてまいりたい所存であります。

次に、本日提出いたしました審議案件につきましては、先の6月議会以降の新たな行政需要に対応するため、条例等の改正のほか、予算につきましても補正の必要が生じたので対処いたしましたところであります。

これにより、今議会でご審議をお願いする案件は、

報告案件	2件、
予算案件	5件、
条例案件	3件、
その他案件	2件、
認定案件	16件であります。

先ず、補正予算の専決事項であります。

新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、保育園や老人福祉センター等に空気清浄機など換気対策に必要な備品を購入するため、950万7千円の増額補正の必要が生じたので、一般会計補正予算第3号を専決し、対処いたしましたところであります。

次に、一般会計補正予算案について、その概要を申し上げます。

今回の補正につきましては、前年度繰越金、普通交付税等の確定に基づく歳入予算を計上したほか、定期人事異動に伴う職員給与費の補正並びに緊急性を生じた諸事業を中心に編成したところであります。

先ず、議会費につきましては、定期人事異動による職員給与費32万4千円を減額補正しております。

次に、総務費であります。

令和3年度決算における実質収支の2分の1相当額を積み立てるため、財政調整基金積立金に1億8,930万3千円、市役所南側駐車場用地購入等の経費として、財産管理費に1,424万4千円を追加計上するなど、総額1億9,396万5千円を増額補正しております。

次に、民生費であります。

防火カーテン等購入費として保育園運営費に80万6千円、オンラインイベント等参加者の利便性向上のためのICT機器購入経費として地域子育て支援センター管理運営費に29万7千円を増額する一方で、定期人事異動による職員給与費3,739万円の減額により、総額3,060万8千円を減額補正しております。

次に、衛生費であります。

定期人事異動による職員給与費263万円を増額するとともに、オミクロン株に対応したワクチン接種経費として新型コロナウイルスワクチン接種事業費1億2,156万3千円を追加計上するなど、総額1億6,235万5千円を増額補正しております。

次に、労働費であります。

水道料の使用見込の増により、勤労青年センター管理運営費3万9千円を増額補正しております。

次に、農林水産業費であります。

物価高騰や円安の影響を受けている農家等に対し、畜産飼料や農業肥料の購入費等を助成し、農業経営を支援するための経費として、農業団体育成事業費に1,597万1千円、県営事業費の増額に伴う市負担金の増により、県営かんがい排水事業費に92万円、県営経営体育成基盤整備事業費に720万円を増額するなど、総額2,859万円を増額補正しております。

次に、商工費であります。

定期人事異動による職員給与費1,082万8千円を増額するとともに、市内での新規起業者の増加を見込み、起業支援補助事業費に231万7千円、マイクロツーリズム促進のための新たな観光パンフレット等を作成する経費として、観光振興事業費に395万1千円を追加計上するなど、総額1,928万3千円を増額補正しております。

次に、土木費であります。

定期人事異動による職員給与費212万7千円を減額し、社会資本整備総合交付金の交付内示額の増に伴い、道路橋梁修繕工事費等を増額するため、道路施設長寿命化推進事業費に500万円を追加計上するなど、総額321万7千円を増額補正しております。

次に、消防費であります。

消防団員等公務災害補償等共済基金の助成金を活用し、消防団員の装備品を購入するため、消防団運営事業費に154万円、防火水槽の修繕費として消防施設維持管理費を286万2千円追加計上するなど、総額429万5千円を増額補正しております。

次に、教育費であります。

定期人事異動による職員給与費に507万9千円を増額し、公益財団法人日本パラスポーツ協会の助成金を活用したスポーツ用具等の整備経費として、社会体育振興事業費に1,415万2千円、地域体育館の消防設備の修繕経費として地域

体育館管理運営費に108万7千円を増額するなど、総額2,293万2千円を増額補正しております。

以上の結果、一般会計補正予算額は、4億374万4千円を増額補正となり、現計予算額は158億4,228万7千円となります。

次に、特別会計、企業会計の補正予算案であります。

国民健康保険特別会計につきましては、定期人事異動による職員給与費222万6千円のほか、マイナンバーカード取得の啓発や未就学児の保険料軽減に伴うシステム改修等の経費として国民健康保険運営費を53万9千円、新型コロナウイルス感染者等への手当金として傷病手当費50万円をそれぞれ増額し、総額326万5千円を増額補正しております。

介護保険特別会計につきましては、令和3年度決算に基づく介護保険事業基金積立金に247万4千円、国庫支出金等償還金に4,689万8千円を追加計上し、定期人事異動による職員給与費299万5千円を減額するなど、総額4,657万1千円を増額補正しております。

病院事業会計につきましては、定期人事異動や新型コロナウイルス感染症患者に対応する職員の特殊勤務手当の創設等による職員給与費の増額のほか、訪問看護ステーション開設のための準備経費を追加計上するなど、病院事業費用を3,139万2千円増額補正し、訪問看護室改修費や病院駐車場の整備経費の追加など、資本的支出を1,376万4千円増額補正しております。

水道事業会計につきましては、定期人事異動により収益的収入収益的支出それぞれ277万3千円を減額補正するとともに、資本的収入において、企業債から一般会計出資金に財源振替を行うものであります。

その他の案件につきましては、いずれもその末尾に提案理由を付記してありますので、よろしくご審議のうえ、ご議決あらんことをお願い申し上げます。

令和4年9月1日

葦崎市長 内藤 久夫